

かがやく杉谷っ子のために ～

ONE TEAM



島原市立第四小学校

学校だより No.160

令和6年1月12日(金)

文責：校長 大槻浩二

バトンをつなぎ、Smile & Challenge !

三学期始業式の話 (概要)

(能登半島地震についての被害状況等)

これを遠くの場所ですら起きた関係のないことだと思わないでほしい。私たちのふるさと島原は、雲仙普賢岳災害が起き、全国からたくさんの助けや支えを受け復興した。その島原で生きている私たちは、今度は私たちが何をできるのか、しっかりと考えてほしい。小学生が、できることは限られているかもしれないが、次の三つを考えてほしい。

一つ目は、「知る」(正しく理解する)

地震はなぜ起きるのか。学校や学校の帰り道に地震が起きたらどうするか。津波が来たらどこに逃げるのか。今回の地震の被害は、どれくらいなのか。被災した人たちは、何が困っているのか。被災した人たちのためにできることは何か。どんな人たちがボランティアや救助を行っているのか。など、たくさんの正しい情報を知る。

二つ目は「思い遣る」(相手を理解する)

思いやりとは、単に優しくすることではない。「遣る」という漢字は、届けるという意味。相手の気持ちをよく理解し、本当に必要な思いを届ける。被災している人たちの悲しみや不安、困っていることを理解し忘れない。

三つめは、「行動する」(未来に生かす)

自分ができることは、何なのか考えて、実際に行動に移す。すぐにできることもあるが、みなさんは小学生ですから、ぜひとも未来に生かしてほしい。この中から将来、科学者になって地震や津波を詳しく調べる人が生まれるかもしれない。お医者さんになってたくさんのけがや病気から救う人が生まれるかもしれない。警察官や消防士、自衛隊として、たくさんの人を助けるかもしれない。市役所の人職員として、避難所での生活を支える人になるかもしれない。学校の先生として、子どもたちの不安をなくすこともできるかもしれない。ピンチの日本を救うのは、間違いな



く、これから大人になるみなさんです。正しく知って、正しく理解し思いやり、行動に移してほしい。(千支の話)

次に、三学期にがんばってほしいことを三つ話す。

一つ目は、「思いやりいっぱい」の学校・学級にする。そのためには、まちがった考え、自分勝手な考え「シンキングエラー」「いじる」「あおる」を四小から絶対になくす。

次の3つがポイントです。

①「気づく」。自分がしていることや言ったことで友だちが嫌な思いをしていないか気づく。友だちがいやなことをされて困っていることに気づく。

②「教える」。間違った言葉を使っている人や行動をしている人に「間違ってるよ」と教える。怖くて言えない人は、どの先生にでもいいので教える。

③「声をかける」。「だめだよ」「やめろ」と声をかける。一人ぼっちの人や困っている人に声をかける。

二つ目は、「四小スタンダード70%達成」をやりとげる。

三つ目は、「次の学校・学級・自分」にバトンをつなぐ。特に、六年生は、四小を卒業するリーダーとして、一年生から五年生に四小の子どもとして目指すべき姿を見せる。そして、次のリーダーの五年生にしっかりとバトンを渡す。

一年生から五年生、特に五年生、四年生は、新しい学校のリーダーとして、六年生が心配なく卒業できるよう行動を見せる。三学期は、委員会活動や集団登校班のリーダーとしての役割を四年生と五年生に引き継ぐ。しっかりとバトンをつないでほしい。

また、次の学年の「新しい自分」にしっかりとバトンをつなぐ。今できていないことやがんばっていないことを無くし、次の「新しい自分」にバトンを渡そう。

3学期のテーマは、「Smile & Challenge part3 『次の学校・学級・自分』につなぐ、ちょこっとChallenge」です。一年間のまとめとして、すばらしい三学期にしましょう！

ふれあいマラソンに Challenge !

12月24日(日)に「第62回ふれあい島原健康マラソン」が行われ、本校児童30名が出場しました。他校の児童と競い合う貴重な経験になりました。子どもたちは、それぞれ力を十分に発揮してくれました！たくさんのお褒めをいただきました。



学 年	順位	名前
1年男子	4位	兼田 侑昊
1年女子	1位	豊樹 沙蘭
2年男子	1位	松本 一慶
2年男子	4位	松本 滯人
2年女子	2位	山本 ひかり
2年女子	6位	平尾 紗々
3年男子	2位	中村 鷹壘
4年男子	2位	山本 真生
4年女子	5位	永川 千陽
5年男子	2位	松本 一伸
5年男子	3位	宮崎 陽向
5年女子	1位	松本 美央理
5年女子	6位	酒井 麻子
6年女子	3位	吉岡 帆乃香

無病息災を願って

1月7日(日)に杉谷地区青少年健全育成協議会主催で鬼火とふれあいウォーキングが行われました。20Mを超える高さに組まれた櫓に火を入れ、みんなの無病息災と能登半島地震の復興を願いました。

今年度から、6年生がウォーキングのクイズ作成を担当し、運営の一役を担いました。ウォーキングの後は、豚汁をおいしくいただきました。前日から準備してくださった青少協の皆さん、育友会の教養生活環境部、保健給食部の皆さん、ありがとうございました。Smile いっぱいの会になりました。



欠席・遅刻・早退等の連絡をデジタル化しました！

これまで、児童の欠席や遅刻・早退の連絡について、電話等で行うことを保護者の方々にお願いしてきただけですが、3学期より連絡の効率化や迅速化、保護者の負担軽減、教職員の確実な状況把握を図るために、スマートフォン等と Google フォームを活用した連絡方法に切り替え、運用がスタートしました。当日の朝、7時50分までに連絡してください。スマートフォン等で送信された内容は、職員室や教室にしながら全児童分を確実に把握ができて、教職員もとても助かっています。

